

事務事業名 五郎山古墳館運営管理事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：697

施策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	01090608-07-00
基本事業：	03	歴史学習の機会提供	担当部	教育部
基本事業の成果指標	歴史文化に関する学習会等に参加した市民の数 歴史文化に関する体験学習等に参加した児童生徒の数		担当課	文化財課
			担当係	博物館・史跡整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市内外からの見学者			<p>国史跡五郎山古墳及び古墳館における下記の事業を行い、学習の場としての適切な公開活用を図るとともに、見学者等の学習要求に応え、館の運営を行います。開館時間（9:00～17:00、月曜日休館）、入館料無料。</p> <p>古墳の出土資料等の見学・学習映像の視聴。 可動式実物大模型による古墳石室体験・細部見学。 観察室からの実物古墳石室見学（実物）。 学校休業期間における装飾古墳等に関するイベントの実施。夏休み装飾古墳アート（石に古墳壁画の絵を描く模擬体験、ストローを管玉に見立てたアクセサリ製作）・冬休み段ボール織り（古代布織り）・筑後川流域の装飾古墳一斉公開事業に併せた古墳公開（連携事業）・小学校等の団体見学など） 装飾古墳関係図書閲覧・解説パンフレット（多言語）等の提供。</p>							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
五郎山古墳をはじめ、九州の特徴でもある装飾古墳への公開活用を行い、地域の歴史・文化の学習意欲を喚起し、地域の歴史文化に対する理解を深めます。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標	
来館者数		人	5,399	4,831	6,000	6,000			6,000	
装飾古墳アートイベント参加者		人	925	1,074	1,100	1,200			1,100	
5. コスト										
事業費		計	千円	6,070	5,968	7,315	8,041			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他 一般	千円	0	0	0	0			
正職員人工数		人工	0.05	0.05	0.05					
正職員人件費		千円	400	404	403					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	6,470	6,372	7,718	8,041				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		[状況] 来館者数は5,399人から減少していますが、平成13年度からの入館者数平均は、5,400人（/年）となっています。夏休みに実施している装飾古墳アートイベントの参加者について925人から1,074人に増加しています（前年比16%増）。 [原因] イベントについては、数年ごとに制作物のメニューを検討し、追加更新してきた成果であると考えます。とくに夏休み装飾古墳アートは、今年度で14年目を迎える人気の事業で、夏休みの里帰りや、小学生の自由研究などのために来館する家族連れも多くなっています。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	地域の歴史文化の理解を深め、学習意欲を喚起していくことを目的とした学習施設（五郎山古墳ガイダンス施設、市歴史博物館分館）との位置づけをしており、利用料については無料としています。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
備考・特記事項 or 進行管理欄										
平成13年度開館。 平成28～令和元年度保存整備事業。										
五郎山古墳はマスコミ取材も多く、市内外からの関心度は高いものとなっています。										